

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,217	0.7	1,315	△9.6	1,392	△8.9	717	△9.3
2022年3月期第2四半期	18,094	1.7	1,454	2.9	1,528	3.9	790	11.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 969百万円 (△6.2%) 2022年3月期第2四半期 1,033百万円 (△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	48.36	-
2022年3月期第2四半期	53.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	27,092	16,102	50.8	928.51
2022年3月期	25,339	15,373	52.0	888.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,772百万円 2022年3月期 13,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	0.5	2,200	6.2	2,330	5.1	1,200	2.3	80.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	15,180,000株	2022年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	347,250株	2022年3月期	347,250株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,832,750株	2022年3月期2Q	14,832,801株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、行動規制の緩和や社会行事の再開、外出マインドの高まりなどで持ち直しの動きがみられました。しかしながら、急激な円安進行やロシア・ウクライナ情勢悪化の長期化などで原材料価格が高騰し、燃料価格も高止まりするなど先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、資材価格の高騰による住宅建設コストの増加が住宅取得マインドの重しとなり、持家の着工戸数は前年を下回って推移しております。当面、原材料価格の高騰と円安による仕入れコストの上昇から住宅価格は高止まりすることが懸念され、先行きは不透明で厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況のもと当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高182億17百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益13億15百万円（同9.6%減）、経常利益13億92百万円（同8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億17百万円（同9.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

住宅市場は、資材価格の高騰による建設コストの増加が住宅着工を抑制する要因となり、全国では持家、総数ともに前年を下回って推移しております。4月から8月までの新設住宅着工戸数（持家）は全国で110,228戸（前年同期比10.4%減）、北海道で4,740戸（同19.4%減）と前年を下回っており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況のもと、床下冷暖房システム「Air Voley」、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などのオリジナル商品の販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高58億73百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益5億26百万円（同2.2%増）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、引き続き同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上と、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりましたが、人件費、水道光熱費を始めとした経費増加もあり、売上高112億55百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益8億81百万円（同7.1%減）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切なメンテナンスと効率的な運用を心掛けており、売上高1億96百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益1億29百万円（同2.8%増）となりました。

（足場レンタル事業）

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、外国人実習生受け入れによる経費先行もあり、売上高3億86百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益34百万円（同39.7%減）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、本社改修による一過性の経費増加もあり、売上高5億5百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業損失20百万円（前年同四半期は営業利益8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は270億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億53百万円増加しております。これは主に、売上債権が10億94百万円、商品が6億73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は109億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億24百万円増加しております。これは主に、買入債務が10億75百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は161億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億29百万円増加しております。1株当たりの純資産は928円51銭となり、前連結会計年度末に比べて39円63銭増加しております。

なお、自己資本比率は50.8%となっており、前連結会計年度末と比較して1.2ポイント低下しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億58百万円減少し、30億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は5億67百万円（前年同四半期は4億58百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億75百万円、減価償却費4億1百万円、棚卸資産の増加額8億42百万円及び法人税等の支払額4億4百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は2億75百万円（前年同四半期は3億92百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億16百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は5億50百万円（前年同四半期は40百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入6億円、短期借入金及び長期借入金の返済による支出9億2百万円、配当金の支払額2億39百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2022年5月10日付「2022年3月期 決算短信」において発表しております2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,354,547	3,096,630
受取手形、売掛金及び契約資産	2,063,419	3,104,486
電子記録債権	255,303	309,093
商品	3,891,974	4,565,470
販売用不動産	98,690	183,922
仕掛販売用不動産	294,824	365,480
その他の棚卸資産	19,105	32,595
その他	108,845	121,284
貸倒引当金	△5,957	△4,104
流動資産合計	10,080,754	11,774,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,909,599	7,635,592
土地	2,868,584	2,838,302
その他（純額）	2,483,808	2,660,703
有形固定資産合計	13,261,992	13,134,598
無形固定資産		
のれん	36,106	18,053
その他	102,922	124,132
無形固定資産合計	139,029	142,186
投資その他の資産		
その他	1,876,725	2,057,969
貸倒引当金	△19,120	△16,694
投資その他の資産合計	1,857,605	2,041,275
固定資産合計	15,258,627	15,318,060
資産合計	25,339,382	27,092,920
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726,660	2,659,692
電子記録債務	397,517	540,197
短期借入金	2,867,000	2,430,000
未払法人税等	415,852	527,171
賞与引当金	185,006	232,068
その他	800,639	868,371
流動負債合計	6,392,676	7,257,501
固定負債		
長期借入金	2,120,000	2,255,000
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	304,669	321,784
資産除去債務	423,458	424,056
その他	696,027	702,581
固定負債合計	3,573,165	3,732,432
負債合計	9,965,842	10,989,933

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	11,360,252	11,884,811
自己株式	△133,001	△133,001
株主資本合計	12,855,029	13,379,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247,935	311,116
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	329,521	392,702
非支配株主持分	2,188,989	2,330,698
純資産合計	15,373,539	16,102,987
負債純資産合計	25,339,382	27,092,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,094,837	18,217,903
売上原価	12,855,891	12,886,388
売上総利益	5,238,946	5,331,515
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,506,017	1,540,717
賞与引当金繰入額	208,865	241,050
退職給付費用	16,828	28,017
貸倒引当金繰入額	1,319	990
その他	2,051,170	2,205,441
販売費及び一般管理費合計	3,784,201	4,016,216
営業利益	1,454,744	1,315,298
営業外収益		
受取利息	200	197
仕入割引	40,877	37,450
その他	41,471	47,831
営業外収益合計	82,549	85,479
営業外費用		
支払利息	8,082	7,404
その他	810	1,363
営業外費用合計	8,892	8,768
経常利益	1,528,401	1,392,010
特別利益		
固定資産売却益	5,055	9,088
受取保険金	—	12,439
特別利益合計	5,055	21,528
特別損失		
固定資産除売却損	161	356
災害による損失	—	37,600
特別損失合計	161	37,956
税金等調整前四半期純利益	1,533,296	1,375,581
法人税、住民税及び事業税	591,964	512,057
法人税等調整額	△52,649	△42,646
法人税等合計	539,315	469,411
四半期純利益	993,980	906,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	203,087	188,786
親会社株主に帰属する四半期純利益	790,893	717,383

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	993,980	906,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,570	63,142
その他の包括利益合計	39,570	63,142
四半期包括利益	1,033,551	969,313
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	830,509	780,564
非支配株主に係る四半期包括利益	203,042	188,749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,533,296	1,375,581
減価償却費	367,608	401,966
のれん償却額	18,053	18,053
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,072	47,062
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	706	△4,279
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,752	17,114
受取利息及び受取配当金	△10,676	△197
支払利息	8,082	7,404
固定資産除売却損益 (△は益)	△4,894	△8,731
受取保険金	—	△12,439
災害損失	—	37,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,068,998	△1,089,329
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△808,332	△842,873
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,119,173	1,075,711
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△207,756	90,917
その他	△1,945	△109,193
小計	989,140	1,004,366
利息及び配当金の受取額	10,676	197
利息の支払額	△9,179	△7,465
保険金の受取額	—	12,439
災害損失の支払額	—	△37,600
法人税等の支払額	△532,044	△404,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,592	567,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220	△299
有形固定資産の取得による支出	△409,607	△316,595
有形固定資産の売却による収入	31,684	78,945
無形固定資産の取得による支出	△13,515	△40,180
投資有価証券の取得による支出	△1,988	△2,384
投資有価証券の売却による収入	—	4,299
貸付金の回収による収入	927	643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392,720	△275,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	△557,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△392,500	△345,000
自己株式の取得による支出	△43	—
配当金の支払額	△177,525	△192,622
非支配株主への配当金の支払額	△58,800	△47,040
リース債務の返済による支出	△12,060	△8,765
その他	△100,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,929	△550,428
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,943	△258,217
現金及び現金同等物の期首残高	3,123,275	3,341,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,148,218	3,083,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,849,308	11,105,275	—	419,018	536,268	17,909,872
その他の収益	—	—	184,965	—	—	184,965
外部顧客への売上高	5,849,308	11,105,275	184,965	419,018	536,268	18,094,837
セグメント間の 内部売上高又は振替高	273,228	1,481	27,240	1,213	5,478	308,642
計	6,122,537	11,106,757	212,205	420,232	541,747	18,403,479
セグメント利益 又は損失（△）	515,624	949,227	125,923	57,095	8,236	1,656,107

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,656,107
セグメント間取引消去	△9,097
全社費用（注）	△192,265
四半期連結損益計算書の営業利益	1,454,744

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,873,583	11,255,042	—	386,387	505,930	18,020,944
その他の収益	—	—	196,958	—	—	196,958
外部顧客への売上高	5,873,583	11,255,042	196,958	386,387	505,930	18,217,903
セグメント間の 内部売上高又は振替高	271,727	1,025	24,490	2,422	1,658	301,322
計	6,145,310	11,256,068	221,448	388,809	507,588	18,519,226
セグメント利益 又は損失（△）	526,901	881,995	129,396	34,411	△20,173	1,552,531

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,552,531
セグメント間取引消去	△2,155
全社費用（注）	△235,078
四半期連結損益計算書の営業利益	1,315,298

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。